

○ドローンは、農薬の散布にとどまらず、肥料散布や水稻種子の直播、生育分析、病害虫の管理、果樹の溶液受粉、鳥獣害対策等においても研究・開発がされており、普及が期待されています。

### 【ドローン活用による生産者のメリット】

- ・肥料・農薬の適期散布。
- ・作業時間の大幅短縮。重労働の軽減。
- ・生産技術の高位平準化。
- ・作物の生育状況や圃場状態をリアルタイムで把握。
- ・中山間地の狭小、不正形圃場での散布が可能。
- ・センシング技術を活用した適期収穫による作物の収量、品質の向上。



### 【機種選定のポイント】

- ・作業内容
- ・栽培面積
- ・イニシャルコスト
- ・ランニングコスト
- ・タンク容量
- ・飛行時間 …etc

### 【JA全農にいがたの取り組み】

- ・オペレータ認定取得職員が複数在籍しているので、用途に応じた機種提案や実演、デモフライトが可能です。
- ・各種実証試験をおこないドローンに関するノウハウを蓄積しています。また、ライセンスの取得助成も実施中です。

### 【ドローンに関する費用(参考)】

単位：万円（税抜）

項目	技能講習	機体一式	年間償却費
費用	21～25	200～400	80～100

- ・金額は目安ですので、参考としてご確認ください。
- ・技能講習は、機体別に受講する必要があります。
- ・減価償却期間は、7年で計算しています。

購入から  
運用まで  
の流れ



**ドローン  
ライセンス  
取得助成  
あります!**

詳しくは JA 農機センターと JA 全農にいがた農業機械課までお問い合わせください。